

# 環境総合研究所の 国際関連業務について





- 1 業務目的・計画上の位置づけ
- 2 今年度の実施結果と今後の予定
  - (1) インドネシア・バンドン市とのJCM  
(二国間クレジット) 事業
  - (2) その他の都市間連携プロジェクト事業

# 1 業務目的・計画上の位置づけ



## ■ 業務目的

- 川崎の優れた環境技術情報を収集・発信し、国際貢献の推進を図る。
- 環境技術を活用して、海外自治体の環境改善を図り、市内事業者等の海外事業展開を支援する。

## ■ 計画上の位置づけ

- 「川崎市総合計画」 施策3-1-1「地球環境の保全に向けた取組の推進」
- 「川崎市環境基本計画」 3つの柱の2「地域資源を活用したグリーンイノベーションにつながる取組の推進と国際社会への貢献」に基づき、地球環境保全に向け、国際貢献の推進や本市の環境に対する取組を海外に発信
- 「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」 基本的方向Ⅱ  
「グリーンイノベーションで世界の脱炭素化に貢献するまち」に基づき、  
施策11「グリーンイノベーション推進に向けた機能強化及び国際貢献の推進」
- 「川崎市大気・水環境計画」 基本施策Ⅱ-2 多様な主体との協働・連携  
「優れた環境技術の活用による国際貢献に向けた連携の推進」に基づき、  
「国際的な環境保全活動への支援・連携」「環境関連ビジネスの海外展開支援等」

## 2 今年度の実施結果と今後の予定



- (1) インドネシア・バンドン市とのJCM  
(二国間クレジット) 事業
- (2) その他の都市間連携プロジェクト事業



Colors, Future!

いろいろって、未来。

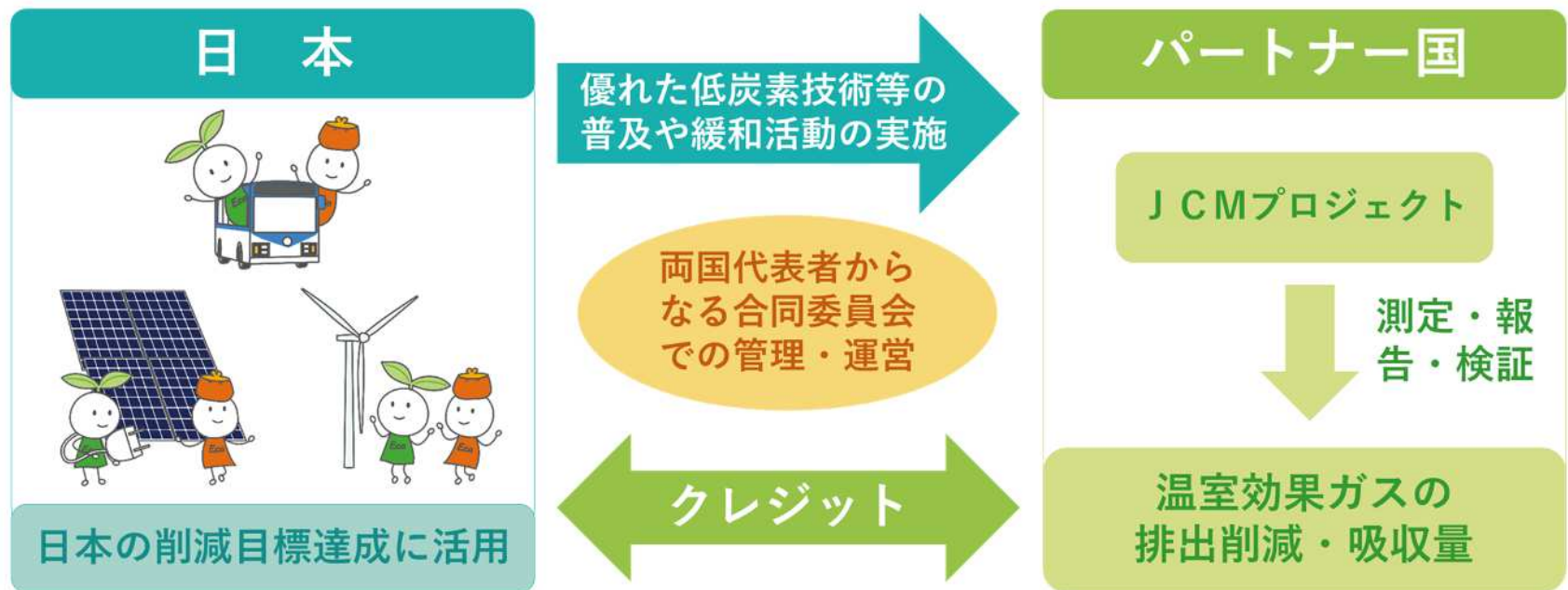
川崎市

# (3)インドネシア・バンドン市とのJCM(二国間クレジット)事業



○二国間クレジット (Joint Crediting Mechanism) とは

途上国と協力し温室効果ガスの削減に取り組み、削減の成果を両国で分け合う制度



市の優れた環境技術による国際貢献、市内関連企業の海外展開支援





Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

## (3)インドネシア・バンドン市とのJCM(二国間クレジット)事業



### ○本事業に至る経緯

- ・平成19年からエコビジフォーラムで信頼関係を醸成
- ・平成28年に環境に関する都市間連携の覚書を締結
- ・令和2（2020）年に覚書を延長（2025年2月まで）



覚書締結式

### ○事業の目的

- ・海外都市の環境課題の解決・脱炭素化への貢献
- ・ニーズに応じた市内企業等の環境技術・製品の海外展開の促進
- ・SDGs未来都市としての都市イメージ、シビックプライドの向上

### ○バンドン市の課題

- ・急激な人口増加や経済発展に伴う環境負荷の増大（二酸化炭素排出量等）
- ・**インフラ（建物や交通インフラ）の省エネ化等が大きな課題**



**本事業を通じ、バンドン市のインフラの省エネ化を目指す**

# ●事業の流れ



⇒市内関連企業（GIS会員企業等）とともに取り組むことで、グリーンイノベーションと国際社会への貢献を推進していく

# 今年度の現地協議の様子



2023.11.5～11.10



ワークショップの様子



集合写真





# 事業対象施設



## ①建物分野：高効率空調設備等の導入



バンドン・インダ・プラザ

- ・施設側と調査及び計測機器の取付等について合意。
- ・協力企業はアズビル
- ・調査の結果30%程度の省エネが可能。
- ・2024年9月にJCM設備補助事業申請を目指す

## ②交通分野：スマートLED道路灯の導入



スカルノハッタ通りのLED街灯

- ・バンドン市交通局と協議の上で、候補地区と対象道路について合意。
- ・協力企業はミネベアミツミ
- ・道路管制や大気室モニタリングシステムとの連携検討
- ・2025年4月にJCM設備補助事業申請を目指す



# 今後について



- ・ **2月**にバンドン市関係部局（国際協力室、環境局、交通局）及び関連事業者と**本事業の三年間の成果について協議**
- ・ **3月**に、次年度以降の実施（建物分野＝2024年9月開始、交通分野2025年4月開始）にむけた案を含む環境省に**プロジェクト成果報告書を提出**
- ・ **次年度**は、年度中に本市とバンドン市の**覚書が期限を迎える**。バンドン市側は、引き続き継続したいという意向を示しており、**協議を続けていく**必要あり。

## (4) その他の都市間連携プロジェクト事業



### ● 発展途上国に対する国際貢献に係る事業

#### ① 環境省・インドネシア国チタルム河川水質改善に係る都市間連携事業

- 平成31年度(2019年度)から、川崎市も取組に参加。単年度公募型の事業。
- 今年度は、2月に川崎市の水環境保全や事業系排水処理に関するオンラインワークショップの開催を予定

#### ② JICA草の根・マレーシアペナン州の水資源管理プロジェクト

- 令和5年4月から開始した2か年事業。3月以降にキックオフ会議を予定。
- 水環境保全に関する行政的なノウハウの提供や、市内環境関連企業とのビジネスマッチングを予定。

## (4) その他の都市間連携プロジェクト事業



### ●海外の優良事例の情報収集に係る事業

#### ③ E U国際都市地域間協力事業【IURC】（クロアチア・ザグレブ市とリエカ市）

- ・ 令和3年度から参加（3ヶ年事業）。相互訪問（スタディツアー）での学びあい。
- ・ 今年度とりまとめとして、クロアチアの都市と共同でレポートを作成し、提出。

#### ④ G 7都市における気候変動と健康上のコベネフィットに係る研究プロジェクト

- ・ 令和5年度から参加（3ヶ年事業）。IGESを実施主体として、川崎市、八戸市、新潟市、パリ市、オースティン市の5都市及び大学等の研究者も参加する共同研究プロジェクト。
- ・ 令和6年度スタディツアー、令和7年度レポート完成・公表を予定。



ご清聴ありがとうございました

